

(様式第2号)

## 福祉サービス第三者評価結果報告書

事業者名 保育所 鹿児島みなみ保育園

評価実施期間 平成27年11月1日～28年10月31日

## 1 評価機関

名称	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号

## 2 事業者情報

【平成28年2月末日現在】

事業所名称：鹿児島みなみ保育園	サービス種別：保育所
開設年月日：昭和23年1月	管理者氏名：園長 海江田 優
設置主体：社会福祉法人鹿児島県社会福祉事業団	代表者職氏名：理事長 白尾 國豊
経営主体：社会福祉法人鹿児島県社会福祉事業団	代表者職氏名：理事長 白尾 國豊
所在地	〒 890-0068 鹿児島市東郡元町18-3
連絡先電話番号	099-253-3145
FAX番号	099-253-3146
ホームページアドレス	<a href="http://cgi4.synapse.ne.jp/~k-minami/office/index.htm">http://cgi4.synapse.ne.jp/~k-minami/office/index.htm</a>
電子メールアドレス	<a href="mailto:kago-minami@po3.synapse.ne.jp">kago-minami@po3.synapse.ne.jp</a>

## 基本理念・運営方針

## ■基本理念■

## 法人基本理念

- 一人ひとりのおもいを大切にします。  
私たちは、利用者や地域のみなさん一人ひとりの、それぞれの思いを大切にしていきます。
- みなに笑顔をとどけます。  
私たちは、みなさんのすべてに、心から笑顔が生まれるように努めます。
- 地域のくらしを守ります。  
私たちは、地域のみなさんの、自分らしく生きがいのあるくらしを支えています。

## 鹿児島みなみ保育園 基本理念

- 子ども一人ひとりに寄り添い、保護者や地域との連携・交流を通して“みんなから愛される保育園”を目指す。

## ■運営方針■

## 鹿児島みなみ保育園保育目標

- 「ありがとう」「ごめんなさい」を素直に言える子ども。
- 最後まで頑張れる子ども。

## 【利用者の状況】

平成28年2月2日現在

利用定員	110 人	利用者数	128 人
------	-------	------	-------

## 《2 現在の利用者数》

	合計(人)	男子(人)	女子(人)
0歳児	19	9	10
1歳児	18	11	7
2歳児	25	11	14
3歳児	21	8	13
4歳児	26	9	17
5歳児	19	13	6
計	128	61	67

## 《3 入所の理由別利用者数 2の内訳》

理由	人数(人)	%
親の就労	120	93.76
親の病気・入院	4	3.12
親の介護・病人の世話	2	1.56
その他(育児休業中)	2	1.56
計	128	100

## 【職員の状況】

平成28年2月2日現在

職 種	勤務区分				※常勤換算	※基準職員数
	常勤(人)		非常勤(人)			
	専従	兼務	専従	兼務		
園長	1				1	1
副園長兼保育士	1				1	1
保育士	17		5		20.5	18
准看護師			4		2.5	
栄養士	1				1	1
調理員	1		4		3.8	1
事務員	1				1	1
特別指導員						
入所者処遇 加算職員			1		0.6	
計	22		14		31.4	23

前年度採用・退職の状況	採用	常勤	10 人	非常勤	3 人	
	退職	常勤	3 人	非常勤	4 人	
○常勤職員の当該法人での平均勤務年数					7年9ヶ月	年
○直接処遇に当たる常勤職員の当該法人での平均勤務年数					5年7ヶ月	年
○常勤職員の平均年齢					33	歳
○直接処遇に当たる常勤職員の平均年齢					32	歳

※常勤換算数及び基準職員数は、当該職について、運営基準等で定められている場合のみ記入してください。

### 3 評価の総評

#### ◇特に評価の高い点

積極的に障害児を受け入れることで、健常児に思いやりの心を育てるという考えのもと、昭和52年から開始された障害児保育をはじめ、延長保育・休日保育・病後児保育・ここにこランド（出前保育）の各事業を次々と開始し、地域の子育てニーズに先駆的に取り組み続け、これらの事業は毎年度利用実績が増加し続けている。障害児保育の取り組みについての「全国事業団九州ブロック」での保育士による発表、全国保育士大会での栄養士による食育についての取組の発表など、保育の質向上への継続的な取組の結果であると思われる。

#### ◇改善を求められる点

今後、保育士等の人材の確保がますます困難になりつつある状況の中で、法人・事業所の理念や目標達成に向けて必要な人材を確保し人材を育成していくために、法人本部主導のもとで、評価・育成・処遇が連動した職員の納得性の高い総合的な人事管理システムの早急な構築が望まれる。また、利用者アンケートの内容が、保育園の実態に合っていないためアンケート内容の見直しが望まれる。子どもでも年齢によってはアンケートに応じる事ができるため、内容を見直す際に子どもからの意見や希望の聞き取りも検討されたい。

### 4 第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回、平成19年度以来2回目の福祉サービス第三者評価を受審し、当施設で提供している福祉サービスの質について、専門的かつ客観的な立場から評価をいただきました。

この評価結果は、当施設において利用者主体で質の高いサービスを提供するとともに、地域に開かれた施設運営を行うための課題を明確にし、具体的な目標設定を行う上での客観的指標となりました。

評価の高い点については今後さらに推進し、改善を求められた点については、十分検討を行った上で福祉サービスの向上に努め、よりよい施設運営を目指して努力していきたいと考えています。

### 5 評価結果(別紙)

### 6 利用者調査の結果(別紙)